

2021年度 委員会事業報告書

担当副理事長 平野伸弥
感謝溢れる交流委員会 委員長 伊藤晴康

1. 委員会開催日 (12回)

1 / 9	2 / 8	3 / 15	4 / 12	5 / 17	6 / 14
7 / 21	8 / 28	9 / 18	10 / 18	11 / 15	12 / 23

2. 事業報告

- | | |
|----------------------------------|------------|
| (1) 賀詞交歓会 (1月例会) の担当 | 1月15日 |
| (2) クリスマス家族会・卒業生を送る会 (12月例会) の担当 | 12月05日 |
| (3) 行政マスメディアJC交流会 | 1月 (中止) |
| (4) 西尾張6JCじゃがいもゴルフコンペの担当 | 5月 (中止) |
| (5) 東海地区の事業担当 | 8月10日 |
| (6) 日本JC全国大会の担当【宇都宮】 | 10月 7日～10日 |
| (7) JCニュースの編集と発行 | 1月・9月・12月 |
| (8) 総会・例会・各種事業の記録保管の担当 | 通年 |
| (9) LOMホームページ運営の担当 | 通年 |
| (10) 新入会員の拡大 | 通年 |
| (11) 新入会員の育成 | 通年 |

3. 委員会メンバー

伊藤晴康 高島大輔 宇佐美智也 柳田進也

4. 反省点及び申し送り事項

当委員会では、我々海部津島青年会議所メンバーの活動を支えていただいている皆様に感謝を示し、関係性を強めるために1年間取り組んでまいりました。

まずは賀詞交歓会において、全国的に式典や催しなどの開催自体が中止となっていた時期でしたが、ハイブリッドという形で多くの方にご参加いただいたことで、日ごろお世話になっていただいている方々に対し感謝を申し上げることができたと考えます。画面を通してご紹介やご挨拶いただいた来賓の皆様以外にも、画面上にカメラで映っていただき、会場のメンバーの様子がわかるようにするなど、双方の様子がわかるようにすれば、より感謝の気持ちを伝えることができたと考えます。構築段階では現地での開催も視野に入れておりましたが、直前で緊急事態宣言が発令され、ハイブリッドでの開催となりました。制限のある社会情勢の中ハイブリッド開催で多くの来賓にご参加いただき、理事長所信をしっかりと発信できたことから、ご理解とご支援をいただける関係を築くことができたと考えます。賀詞交歓会の式典をはじめオンラインで中継するという試みでしたが、オンラインでの映りに特化した舞台設営や、司会アナウンスとスライド、舞台の移動のタイミング、間の取り方などの精度、活動紹介や委員会紹介のムービーの内容を更に工夫し、参加いただいた方に我々の真摯な姿勢を示すことができれば、より関係の強化ができると考えます。

そして、クリスマス家族会・卒業生を送る会では、メンバーとご家族、大切な方が集う中、食事や会話、企画を楽しんでいただき、絆を深めていただきました。卒業生スピーチではこれまでの活動から得たもの、そしてメンバーや家族に向けて我々が活動する意義など、メンバーだけでなくご家族や大切な方が感動する

ような素晴らしいお話をいただき、想いを受け継ぎました。計画の当初は社会情勢を考慮しオンラインでの開催と企画を進めておりましたが、情勢が落ち着き対面での開催ができました。開催方法、企画を変えることは難しい面もありましたが、参加いただく家族や大切な方を笑顔にしたいと、企画の準備に力を入れました。当日は企画の中心となった子供たちから、見守っていただいたご家族、設営を手伝っていただいた独身のメンバーまで皆が笑顔になる場面をつくることができました。ご家族同士の交流や、支えているメンバーが普段一緒に活動しているメンバーとの面識もでき、楽しい時間を過ごしていただきながら交流を深めることができました。今後も家族会をご理解ご支援をいただく貴重な機会ととらえ、企画から広報、参加推進などに力を入れメンバーのご家族や大切な方の積極的な参加をいただけるような家族会の構築を目指して取り組むべきであると申し送りさせていただきます。

年間を通して、所信を伝えご理解ご支援をいただける関係を築き、感謝を伝え大切な方との絆を深めることができたことから、我々の活動を支えていただいている皆様との関係を強固なものにすることができたと考えます。さらにJCニュースや広報、SNSに投稿する写真や動画の内容をよりブラッシュアップすることで、例会・事業の内容をよりわかりやすく、印象を強く広く注目されるようになれば、我々の行う運動発信が地域の内外に伝わり、これまで関係を気付いてきた方、そして新たにご理解とご協力をいただけるとの関係もより強固なものになると考え、申し送りさせていただきます。また、これまで支えてきた頂いた恩に報いるため、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で他団体の多くの事業が中止される中、行政への訪問や情勢が落ち着いていた時期に開催された事業への参加に積極的に取り組みました。また、家族への感謝の気持ちとして夏に家族事業を計画しておりましたが社会情勢の影響により中止となり、その想いと情熱はクリスマス家族会への準備と設営に注ぎました。支えていただいている皆様への感謝を胸に抱きながら活動し、報恩感謝の心で取り組んでまいりました。メンバー支えてくださっている皆様への感謝の行動に対し、いただいた言葉や反応をメンバー間で共有することができれば、より感謝の気持ちを大きく、恩に報いる行動に結びついたと考え、申し送りさせていただきます。

5. 委員長所見

委員会の活動を通し、メンバーが支えていただいている方と感謝溢れる交流を行えるよう、委員長としてメンバーに対し感謝の気持ちを常に持ちながら取り組みました。

まずは行政そしてマスメディアの方と海部津島青年会議所の運動発信に関して連携、協力関係を築くための場を設ける予定でしたが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、行うことができませんでした。そのため、賀詞交歓会で配布できなかったJCニュース1月号を持参し、各行政を訪問いたしました。その際、各行政の職員や首長とお話する機会をいただき、行政が抱えるまちの課題や我々の青年会議所が協力できることについてなど、情報の共有を行うことができました。しかし、メンバーとのやり取りでその情報を共有する機会は少なかつたため、まとめたものを配信するなど、広く共有する工夫が必要であったと考えます。

そしてメンバーの家族や大切な方に感謝を伝えたいと考え、新型コロナウイルス感染症の流行後多くが中止となって触れる機会がなかった縁日をイメージした野外での企画を、感染対策を万全にした上で実施したいと思い、6月には家族向け事業を計画し準備を進めておりましたが、実施する直前に愛知県での緊急事態宣言が発令され、中止となりました。さらに感染者数が落ち着きはじめた7月頃から、夏に向けて水遊びや花火など、再度家族向け事業を行えるよう計画を始めましたが、東京オリンピック後の感染拡大により実施が困難となってしまいました。我々だけでなくブロックや日本本会、諸団体の事業においても、タイミングや実施方法によっては、対面やハイブリッドで開催することができる状況がありましたが、その判断は情勢によって左右され、リスクやスケジュールによって判断が非常に難しく、委員長のための判断で実施の可否を決めることはできないため、ではどうすれば委員会として、感謝を表すことができるか考えさせられました。そこで、まずは当委員会が最初の例会、賀詞交歓会で多くのメンバーにご尽力いただいたことからそれに対する感謝の気持ちとして、他委員会の事業への参画、設営面での援助など、LOM全体のどのような事業

にもただ参加する以上の協力をしていこうと取り組みました。その結果、メンバーから事業を行う上で大変助かったといただける場面があり、自分の委員会だけでなく、LOMの全委員会の事業に真剣に取り組むことで、事業の目的や内容をしっかりと受け止めた上で学べることが多いと感じました。

私たちが活動する中で、時間を割いて取り組んでも報われないと感じることも多くあり、地域の為に活動をしてあげているのにという考え方や、こんなにやっているのに周りは理解してくれていないなど、感謝の気持ちから離れてしまうこともあります。これまでどれだけ多くの場面で快く協力してくれたり、時間を使って参加してくれたり、場所や物を提供してくれたりしたメンバー以外の方がいたか、メンバーが青年会議所活動を行うために社業では業務の調整や対応などを行ってくれる方がいたり、家庭の家事や子育て、家族と過ごす時間が取れていないのはメンバーだけでなくその家族が多く影響を受けていたりなど、考えれば感謝は尽きないはずです。その献身に対して私たちメンバーが答えるべきなのは活動の忙しさを言い訳にせず、社業にも家庭にもしっかりと向き合い、青年会議所活動にも真剣に向き合い、全てに対して逃げたり手を抜いたりすることの無いことが感謝を示すことであると感じています。

委員会の活動へは他委員会のメンバーにも急遽役割を受けていただくなど、皆様のご協力によって本年度の活動ができたことを感謝申し上げ、委員長所見とさせていただきます。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	211,930	事業費	58,021	(7)	150,000	(7)	56,091
				(8)	1,930	(8)	1,930
				(9)	60,000	(9)	0
合 計	211,930	合 計	58,021	合 計	211,930	合 計	58,021